



2024  
令和6年 11

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市政政策室へ

発行●**狛江市政政策室**  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp  
編集・制作●**特定非営利活動法人 k-press**  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743  
Email=wacco@k-press.net

## 壁のない教室など充実した環境

### 「みんなでみんなを育てていく」学校目指し20周年

緑野小学校は、児童数の減少などにより狛江第二小学校と狛江第七小学校を統合し、旧七小の校舎を使って平成17年に開校、今年、創立20周年を迎えた。旧二小の敷地に校舎を新築し18年9月に移転

した。新校舎は、市内初のオープンスペース仕様の教室など多くの特徴を備えている。

特別支援  
教育の推進、6年生全員のプラスバンド活動、学校図書館の活用などを行っている。「チーム緑野」として「みんなでみんなを育てていく」学校を目指している。



みどりオリンピックで演技する児童たち。後方は校舎とシンボルツリーのヒマラヤスギ

●**小学校教科担任制等推進校**●  
5・6年生は国語、社会、体育、家庭科、総合的な学習、道徳、特別活動を学級担任が分担して受け持ち、理科、音楽、図工、外国語、を専科教員が受け持つ教科担任制を取り入れている。算数は習熟度別少人数指導を行っている。4年生以下も交換授業のほか、専科教員も入れた学年担任制を採用しており、児童にも好評だ。

●**クラブ**●体育館スポーツ、校庭スポーツ、卓球、科学、まんが・イラスト、情報・パソコン、室内



絵手紙クラブ

ゲーム、ダンス、奇跡の瞬間、図工、手芸、絵手紙・伝統文化、折り紙、舞台、謎解きの15クラブがある。「絵手紙のまちー狛江」で唯一の絵手紙をはじめ、折り紙、謎解きなど他校にないクラブもある。

●**プラスバンド**●狛江第二小学校・狛江第七小学校の鼓笛隊から続く伝統的な活動で、6年生全員が13種の楽器を演奏するプラスバンドとカラーガード活動を行っている。みどりオリンピック（運動会）や防災教室を兼ねた東京消防庁音楽隊とのコラボレーションコンサートなどの学校行事のほか、こまえ市民まつりや多摩地区小学校管楽器演奏会に参加している。また、コロナ禍でプラスバンド活動ができな

かった令和2年度にミュージック・ベルに取り組み、現在は5年生が演奏を続けている。  
●**放課後学習**●退職教員が4年ほど前から放課後の約45分間に宿題や学習の補助を行っている。10月末から同小OBの大学生や地域協力者などが加わり、週3回に増えた。



▶8◀

## 緑野小学校

和泉本町4-3-1  
亀田親子校長、教職員82人、児童25学級、626人、卒業生1,879人  
敷地13,579㎡、鉄筋コンクリート造り4階建て（普通教室24室、特別教室23室）



（10月1日現在）  
亀田校長プロフィール▶昭和63年の多摩市を皮切りに中野区、調布市の小学校に勤務、平成28年に調布市で副校長、令和2年から緑野小学校の校長を務めている。



●**図書室**●2教室分の広いスペースと、一部が吹き抜けになっている図書室は、市内の小学校で最多の約18,000冊の蔵書を備える。読み聞かせコーナーもあり、親しみやすいイラストで児童が楽しく本が選べる配慮がされている。



オープンスペースの教室

●**壁のない教室**●教室と廊下の境に壁がないオープンスペース仕様の教室をはじめ、2学年ごとに設置された特別活動室、算数室、生活科室など広い空間で学ぶことができる。

●**シンボルツリー**●正門横にそびえる3本のヒマラヤスギは昭和24年開校の旧二小時代から親しまれてきた。七小から移植したエノキなど大きな木が多く、校名の由来となった。

●**図書室**●2教室分の広いスペースと、一部が吹き抜けになっている図書室は、市内の小学校で最多の約18,000冊の蔵書を備える。読み聞かせコーナーもあり、親しみやすいイラストで児童が楽しく本が選べる配慮がされている。



図書室

●**金澤翔子さんの書**●祈りの書家・金澤翔子さんの大きな書が1階昇降口に飾られている。今年1月の研究発表会で訪れた金澤さんが席上揮毫した作品で、「共に生きる」は緑野小の教育目標のひとつ。



昇降口に飾られた金澤翔子さんの書

●**ポニーの来る学校**●福祉ネット「ナナの家」で飼育しているポニー2頭が、令和4年から散歩の途中、ほぼ毎週木曜日の中休み時間に立ち寄り、児童と触れ合い、給食のニンジンの食べられない部分をも

らっている。この取り組みに対し昨年度、狛江市から環境表彰制度優秀賞が贈られた。



ニンジンをもらうポニー

●**緑野小学校PTA**＝昨年度からクラス委員を廃止し、「できる範囲で活動する」方針に基づいてPTAへの加入や活動への参加も任意としている。開校20周年を記念して同小のキャラクター「ヒマラヤん」などをあしらったバンダナと、プラスバンドが使うベレー帽を製作したほか、今年度は地域の盆踊りに出店し、収益を学校へ寄付した。活動内容を会員へ定期的に配信し、学校行事などでは都度ボランティアを募集している。子どもたちの学校生活充実のため、会員誰もが気軽に参加できる環境づくりに取り組んでいる。

●**緑野小おやじの会**＝平成22年に結成、OBを含めて約15人が活動。子どもと一緒に遊びながら学

### 開放感がある教室

●**6年生（澤井郁人、畠山虎汰郎、松村海斗：敬称略・写真）好きな場所**＝教室と廊下の境に扉がなくてとても開放感がある教室。仲の良い友達がいるので落ち着く。体を動かして遊べる体育館。

●**人気の給食**＝年1回出るバニラアイスと枝豆がおいしくミックスされた「えだまめアイス」。ボリューム満点のジャンボギョウザ。サイダーが入ってフルーツがたっぷりのフルーツポンチ。



教室で

ぶ活動が多い。みどりオリンピックなど学校行事のサポートをはじめ緑野小祭りの企画、KoKoA行事の水フェスなどの共催、こまえくぼ主催のフレンドパーク、狛江フェスティバルへの参加など精力的に活動している。



おやじの会

●**狛江セブン**＝昭和53年に旧七小で発足した小学生のバレーボールチーム。以前は女子だけだったが、数年前から男子も参加し、緑野小体育館などで練習に励んでいる。今年8月に第44回全日本バレーボール小学生大会全国大会に初出場してベスト16になった。日本代表としてパリ五輪に出場した岩崎（富永）こよみ選手も同チームの出身。

### 元・緑野小生から 貴重なプラスバンドの経験

大学生 寺岡咲子さん

平成29年に緑野小を卒業しました。緑野小とは同い年で、学校と共に成長した6年でした。



特に緑野小で私の印象に残っているのは6年生の時のプラスバンドです。それまであまり音楽に触れてこなかった私にとって、プラスバンドはとても新鮮でした。それぞれのパートが一生懸命練習して最終的に一つの音楽が完成するという経験は、今でも貴重なものとなっています。

当たり前ですが、小学校での体験は小学校にいる間しかできません。緑野小での経験を大切に過ごしてください。

〈プロフィール〉平成16年新宿区生まれ、保育園から狛江育ち。狛江第一中学校を経て、現在一橋大学社会学部1年。11月から放課後学習の学習支援指導員を務める。